

中海校下のまいぶんマニュアル

☆☆中海校下ってこんなところ！☆☆

地形／中海校下の地形は、おもに梯川流域の平野を見渡す

丘陵と険しい**山地**です。これらの丘陵・山地には、縄文時代の**むら**や、古墳時代の有力な**豪族**の**古墳**、奈良・平安時代の**山寺**（仏教の修行やお祈りをする場所）、戦国大名と一向宗の勢力が争った**山城**（戦いの拠点となるとりで）などがあります

ぜひ授業で
紹介してほしい
ポイント！



地形の説明

年表に登場する遺跡1／ブッシュウジヤマ古墳群（中海町）

おもな時代は**古墳時代**。教科書の小単元は「縄文のむらから古墳のくにへ」。

ポイント①＝小学校がある丘陵は、現在ロードパークのある辺りまで尾根状に連なり、その上に古墳（**円墳**）2基がありました。

ポイント②＝遺体の埋葬施設は、木材で骨組みをつくり粘土で覆うタイプでした。

ポイント③＝小学校敷地内にはまだ古墳が残っています。



中海小保管の土器



中海校下の遺跡

年表に登場する遺跡2／**軽海中世墓**（軽海町）

おもな時代は**鎌倉時代～室町時代**。

教科書の小単元は「武士の世の中へ」～「今に伝わる室町文化」。

ポイント①＝**武士**が活躍した時代、**中海中学校**のある丘陵の辺りに築かれた**火葬墓**。

ポイント②＝石で区画した中に、**蔵骨器**が納められていました。

ポイント③＝埋葬された人は、当時の**軽海郷**をおさめていた有力者の一族と推測されます。



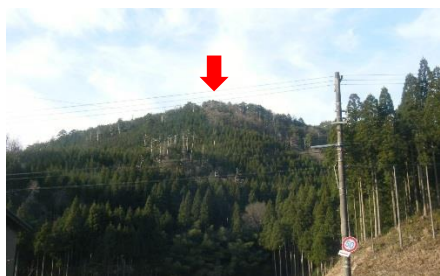
WEB版
南加賀古墳
探訪マップ

年表未登場の重要な遺跡／**岩倉城跡**（原町）

おもな時代は**室町時代**。教科書の小単元は「戦国の世から天下統一へ」。

ポイント①＝**織田信長軍**と**一向宗**の勢力が争った時代に、**岩倉山**山頂に築かれた**山城**。

ポイント②＝山城の近くには、白山麓と小松を結ぶ**三坂峠**越えの道が通り、古くから重要な場所でした。どちらの勢力が城主だったのか、はっきりとはわかっていません。



遺跡の遠景と復元イラスト

